

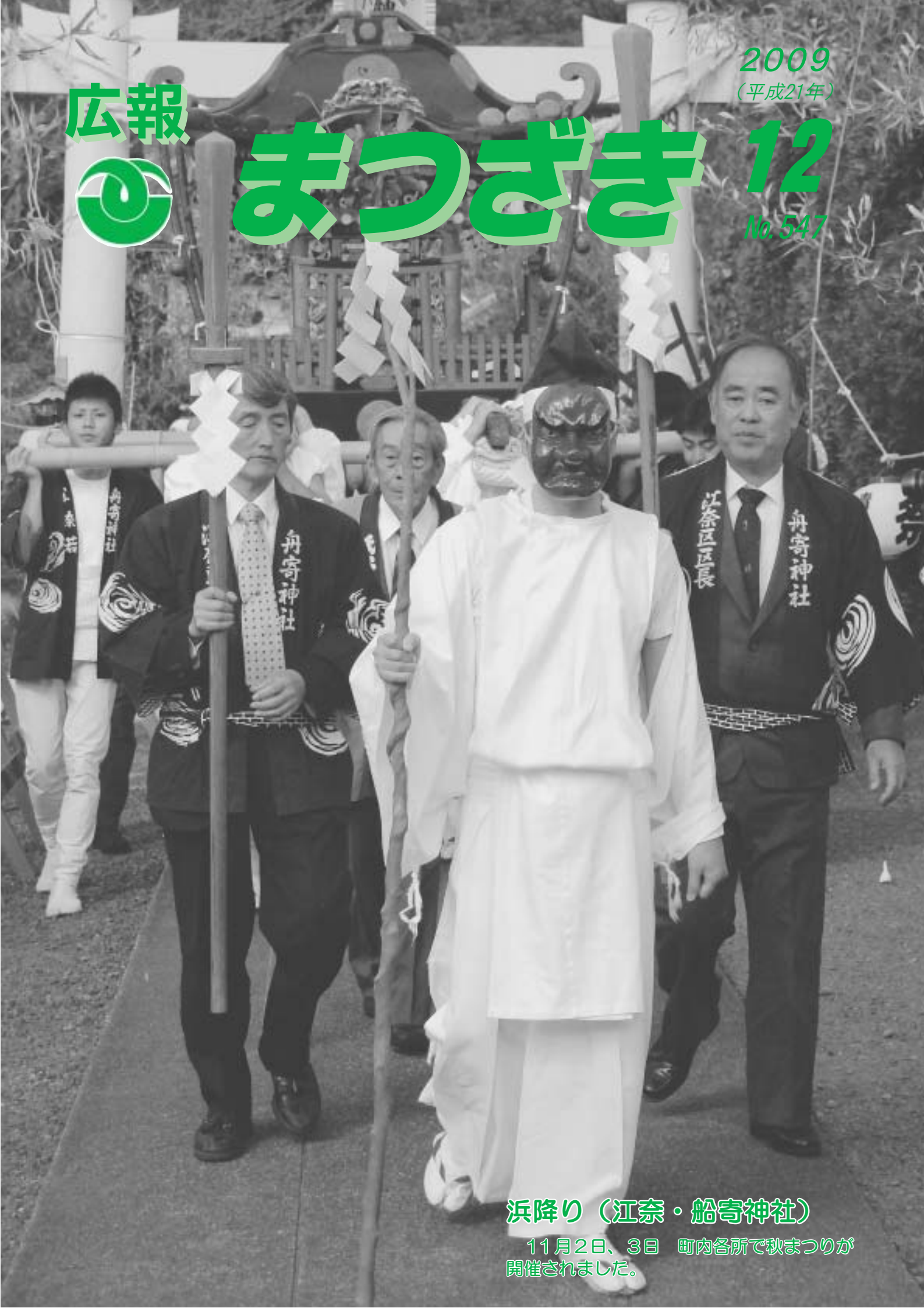
広報



まつぎき

2009
(平成21年)

12
No.547



浜降り（江奈・船寄神社）

11月2日、3日 町内各所で秋まつりが
開催されました。

松崎町功労者表彰

十一月二十日(金)、松崎町功労者表彰式が、環境センター文化ホールで行われました。

この表彰は、松崎町表彰条例に基づき、町の自治、福祉など各般にわたって、町の発展に寄与された方の功績をたたえるものです。

受章された方々は、次のとおりです。

功労表彰

伊東市 **宮内和雄**さん
みやうちかずお

(花いっぱい運動推進委員会委員)

多年にわたり、花いっぱい運動推進委員会委員として、町の花いっぱい運動の推進に貢献。

有功表彰

南区 **依田宗孝**さん
よだむねたか

(公務連絡員)

多年にわたり、公務連絡員として、町政の推進に協力し、町内自治の振興に貢献。

石部 **高橋周藏**さん
たかはししゅうぞう

(保護司)

多年にわたり、保護司として、犯罪の予防、罪を犯した者の自立更正等に尽力し、社会福祉の増進に貢献。

善行表彰

模範行為

中区 **関賢助**さん
せきけんすけ

多年にわたり、長八作品保存会やふるさとガイド松崎、松崎蔵づくり隊など多岐にわたる団体の活動を通じ、地域に貢献。

寄付行為

静岡市 **大高功**さん
おおたか いさお

(西伊豆眼科クリニック院長)

ふるさと納税として、多額の金員を寄付され、町政の推進に貢献。

感謝状

松崎蔵づくり隊

伊豆の長八美術館前に土蔵を新築することにより、松崎町の文化振興に貢献。

伊豆半島太鼓

フェスティバル実行委員会
多年にわたり、伊豆半島太鼓フェスティバルを開催することにより、観光振興および地域の活性化に貢献。

振興公社管理施設上半期実績

昨年秋季に米国から始まった世界的な経済不況に端を発し、新型インフルエンザの流行、八月までずれ込んだ梅雨明け、八月十一日に発生した地震等、さまざまな要因により振興公社の管理施設も大変苦しい経営状況となりました。

経費の面を見ますと、昨年は原油をはじめ諸物価が高騰したことにより支出が増加しました。今年は諸物価も比較的落ち着きましたが、収入の減少から営業収支は厳しい状況にあります。

こうした中で、道の駅花の三聖苑では、地場産品の販売が好調なことから前年に比べて入館者が五・八割の増加、かじかの湯も四・四割の増加という成果を残しています。

今後も厳しい状況が予想されますが、体験企画の充実や広報宣伝に力を入れ、この難局を乗り切るように努力していきます。

【問合せ】
企画観光課(42) 3964

平成21年度 上半期 施設利用状況

施設名	本年度(人)	前年度(人)	比較(人)	割合(%)	
伊豆まつぎき荘	宿泊	13,216	15,394	△2,178	85.9
	入浴	853	901	△48	94.7
	休憩	2,511	2,481	30	101.2
	小計	16,580	18,776	△2,196	88.3
伊豆の長八美術館	入館	24,052	25,038	△986	96.1
重文岩科学校	入館	14,463	15,146	△683	95.5
明治商家 中瀬邸	入館	10,294	10,857	△563	94.8
民芸館	入館	1,699	2,245	△546	75.7
道の駅花の三聖苑	入館	16,353	15,455	898	105.8
	入浴	18,177	17,408	769	104.4
	小計	34,530	32,863	1,667	105.1

町の財政状況

平成21年度 一般会計 上期執行状況

平成21年度の4月1日から9月30日までの一般会計の執行状況をお知らせします。

歳入

予算額：37億2,761万7千円
 収入済額：21億 542万5千円
 収入率（56.4%）

【内訳】

地方交付税	12億3,000万円 9億5,050万2千円 (77.3%)
町 税	7億6,796万9千円 4億6,699万7千円 (60.8%)
国庫支出金	3億7,438万5千円 2,770万4千円 (7.4%)
町 債	2億3,100万2千円 0円 (0%)
繰越金	2億 862万3千円 2億2,329万9千円 (107.0%)
県 支 出 金	1億8,061万8千円 2,024万1千円 (11.2%)
諸 収 入	1億3,279万6千円 4,239万7千円 (31.9%)
使用料及び 手数料	9,549万7千円 3,079万7千円 (32.2%)
そ の 他	2億3,447万2千円 8,312万5千円 (35.4%)
繰越明許費	2億7,225万5千円 2億6,036万3千円 (95.6%)

歳出

予算額：37億2,761万7千円
 支出済額：14億6,392万1千円
 支出率（39.3%）

【内訳】

民 生 費	6億9,650万1千円 3億1,464万7千円 (45.2%)
総 務 費	5億7,894万4千円 2億1,550万5千円 (37.2%)
衛 生 費	4億1,695万1千円 1億3,712万8千円 (32.9%)
公 債 費	3億7,055万1千円 1億8,405万円 (49.7%)
教 育 費	3億6,137万7千円 1億2,663万1千円 (35.0%)
農林水産業費	3億1,271万円 6,728万4千円 (21.5%)
商 工 費	2億2,691万2千円 9,399万5千円 (41.4%)
土 木 費	2億2,152万5千円 3,150万円 (14.2%)
そ の 他	2億6,989万1千円 1億3,956万7千円 (51.7%)
繰越明許費	2億7,225万5千円 1億5,361万4千円 (56.4%)

※上段：予算額 下段：収入・支出済額 ()：執行率

■ は執行率

町民1人あたりでは

平成21年9月30日までに
納めていただいた税金（町税） 約5万7千円

平成21年9月30日までに
使ったお金 約18万円

9月30日現在の基金（町の貯金）と地方債（町の借金）の状況

- 町の貯金（財政調整基金など12基金）
14億4,973万8千円
町民1人あたり約17万8千円

- 町の借金
33億5,024万9千円
町民1人あたり約41万3千円

※1人当たりの値は、9月30日現在の人口 8,119人で計算しています。

【問合せ】

総務課（42）3963

日本年金機構が平成22年1月から

スタートします！

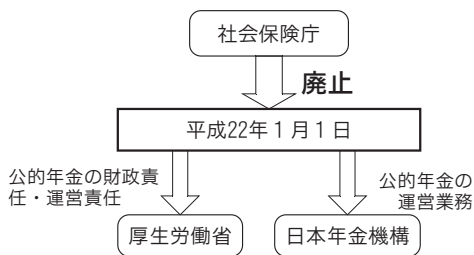
国民の信頼に応え、一層のサービス向上の実現を目指し、来年一月一日から、現在の社会保険庁は組織、人員を一新し、「日本年金機構」として生まれ変わります。

「日本年金機構」は、社会保険庁から公的年金の運営業務を引き続いて行い、公的年金制度は、これまでと同様に国の制度として、その財政や運営は国が責任を持つこととなります。

「日本年金機構」の設立に伴い、現在ある社会保険事務所は、新たに「年金事務所」と名称が変わります。名称が変わっても、年金相談などの窓口として引き続きご利用できます。また、現在ある社会保険事務所の建物をそのまま使用しますので、所在地に変更はありません。

これまで社会保険庁や社会保険事務所の名義でご案内していた各種関係書類は、内容

により、今後は「厚生労働省」または「日本年金機構」の名義でご案内することになりますが、このことに伴う個人の手続きは特に必要ありません。また、国民年金各種届け出や、関係書類の提出は「日本年金機構」設立後も従来どおりの役場で受け付けます。



【問合せ】
三島社会保険事務所
055(973)1444
健康福祉課(42)3966

出張年金相談のお知らせ

日程
平成二十二年一月十四日(木)
受付時間
午前十時から十一時半まで
午後一時から二時半まで
会場
環境改善センター研修室

※「日本年金機構」への移行のため、平成二十二年一月以降の松崎町出張年金相談の日程は現在未定となっておりますので、この機会をぜひご利用ください。

ねんきん定期便について

平成二十一年四月より、国民年金・厚生年金の現役加入者の方を対象に「ねんきん定期便」が送付されています。「定期便」は、毎年誕生日（一日生まれの方は前月）に送付されますので、ご自身の年金記録をご確認いただき、年金記録にもれや誤りがあった場合には同封の回答票にて回答をお願いします。

【問合せ先】
ねんきん定期便専用ダイヤル
0570(058)555
※ねんきん特別便に関する内容も受け付けています。

65歳以上で要介護認定を受けている皆様へ 障害者控除が受けられます

所得税法や地方税法では、所得申告をする本人または扶養親族の方が障害者に該当する場合に、「障害者控除」として、一定の金額を所得金額から控除できることが決められています。

この障害者控除の対象となる方は、一般的には身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方ですが、六十五歳以上の方については、障害者手帳などの交付を受けていなくても、その身体障害者が身体障害者等に準ずる者として市町が認定した方については、障害者控除の対象となります。

に認定書を提出すると、「障害者控除」を受けることができます。

○申請窓口

役場健康福祉課

○必要なもの

印鑑

【問合せ】
健康福祉課(42)3966
窓口税務課(42)3968



毎日あったか介護
ありがとう

伊豆下田納税貯蓄組合連合会 税の作品審査結果について

毎年、十一月十一日から十七日までは、「税を考える週間」です。

伊豆下田納税貯蓄組合連合会では、今年も小学生・中学生の方たちを対象に「税に関する作品（作文、ポスター、習字）」を募集しました。

この事業は、次の世代を担う少年・少女に作品の応募を機会に、私たちの生活に欠かすことのできない税について、その仕組みや目的を知り、考え、税に対する理解を深めていただくことを目的に開催しています。

このたび審査結果が発表され、松崎町では、次の方たちが受賞いたしました。

なお、入賞作品等については、「税を考える週間」の期間中、役場窓口税務課前のロビーにて、展示を行いました。

作文

下田市・賀茂郡

租税教育推進協議会長賞

松本有希さん（松中）

習字

静岡県納税貯蓄組合連合会

銅賞

大場勇作さん（松小）

佳作

山本眞海さん（中小）

松崎町長賞

平野高義さん（松小）

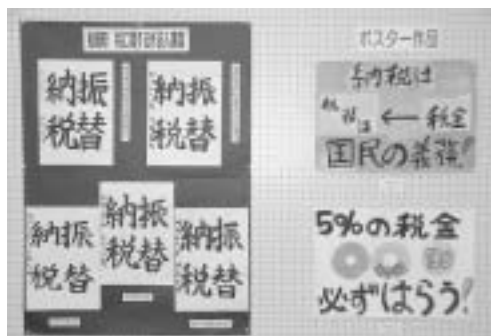
松崎町教育長賞

小林真緒さん（松小）

伊豆下田税務連絡協議会長賞

（松崎町）

伊東菜由さん（中小）



【問合せ】

窓口税務課（42） 3968

ふるさと納税へのご協力
ありがとうございました

十月二十七日に、西伊豆眼科クリニックの医師の方より、昨年に引き続き、次のとおり納税をしていただきました。

○鄭守様（京都市在住）
金額 三十万円

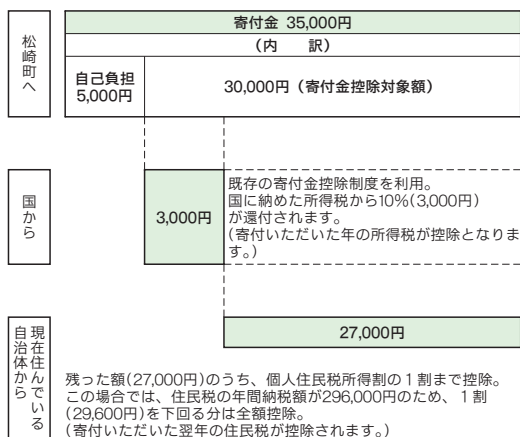
松崎町では、平成二十年六月の制度開始から平成二十一年十月までに十三件（九人）、三百十三万円の納税をしていただきました。

【問合せ】

企画観光課（42） 3964

《35,000円を松崎町に寄付した場合のイメージ》

- ◆年収が700万円（※住民税の年間納税額が29万6,000円）で夫婦と子ども2人の世帯の場合
- ◆年間35,000円を松崎町に寄付する場合



※寄付金控除を受ける場合、確定申告が必要になります。

ふるさと納税制度とは

ふるさと納税制度とは、「ふるさとを大切にしたい」、「松崎町の発展を応援したい」という、皆様の善意を寄付という形で応援していただくこととするもので、左図のとおり、今年度に課税される所得税と来年度に課税される個人住民税から税額控除される制度です。

松崎町のご出身の方、松崎町の豊かな自然や文化をこよなく愛される皆様方におかれましては、当町の取り組みにご賛同をいただき、町づくりにご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

生涯学習 ソフトボール 秋季大会

十一月五日（木）に開幕した生涯学習ソフトボール秋季大会は、十一チームが参加し、総合グラウンドで熱戦が繰り広げられました。

十一月十日（火）の決勝戦は、船田チームと峰輪チームの対戦となりました。突然降り出した雨のため、三回コールドにて、船田チームが三年連続で優勝に輝きました。
チーム成績は次のとおりです。
優勝 船田
準優勝 峰輪
三位 宮内



秋まつり

十一月二日・三日の両日、旧町内は笛や太鼓の音が響き渡り、秋まつり一色になりました。

三日の夜には、各社の太鼓台や山車が商店街に集まり、五社の太鼓の叩き合いが行われました。



→三省社（松崎地区）と責善社（江奈地区）では、二日早朝より、丁壮社（道部地区）では、三日に獅子舞が地区内の各世帯を回り、家内安全と無病息災を祈念しました。



→伊那下神社、道部神社、船寄神社では、三番叟の奉納が行われ、見る人を幻想的な世界に引き込みました。



→伊那上神社では、伏青会（伏倉）と共盟社（宮内）により、奉納相撲が行われました。



三省社（松崎地区）の山車



責善社（江奈地区）の太鼓台



丁壮社（道部地区）の太鼓台

田んぼをつかった花畑 第2回静岡県景観賞 優秀賞を受賞

那賀地区の「田んぼをつかった花畑」が、第2回静岡県景観賞で優秀賞（日本造園建設業協会静岡県支部賞）を受賞しました。

この景観賞は、優れた景観を創出している地区や景観形成に貢献する活動を表彰するものです。



松崎文芸

— 短歌 —

山間にひびく祭りの笛太鼓

猪鹿たちの警きてるむ

平野もみ子

耳にした単語ひとつが鍵となり

眠れる記憶の扉を開ける

高橋栄美

鰯雲広がりにゆく月の夜を

仰ぎてふいにちちははを思ふ

堀岡洋子

潮の香と霧につつまれ閉ざされし

日は読みかけの本を読みあつ

細田光代

儂さの残りし日々の明け暮れに

木漏れ日のさす庭に佇む

土屋君子

軽快な釘うつ音は響き合ひ

木造船の建造はじまる

岡村芳子

生きてあれば十二歳なり遠き地の

阿波の国にて眠りてをりぬ

山本智恵子

あらがはずただ朽ちてゆくものたちを

天城の風はやさしくなてる

高橋百代

～ まちのできごと ～



11/8
今年も田んぼに種を蒔きました

今年も、那賀地区の農閑期の田んぼ約5万2千平方メートルにアフリカキンセンカやりりからくさなど6種類の花の種を蒔きました。



11/14～16
第29回文化協会芸術祭

環境改善センターで、第29回文化協会芸術祭が行われました。今年は166人が絵画など342点を出品しました。



11/19
生涯学習講演会

環境改善センターで、TBSドラマプロデューサーの石丸彰彦氏を講師に招き、「夢の実現に向けて」を演題に生涯学習講演会が開催されました。



11/22
中川三聖祭（中川小学校）

今年で最後となる中川三聖祭が行われ、児童や中川地区の有志の方たちによって、中川の三聖人の偉業を偲ぶ劇などが行われました。

船寄神社（江奈）の浜降り

十一月二日から三日にかけて、旧松崎町内では、各地区で、秋まつりが盛大に行われました。

町内の三番叟や太鼓台等の祭囃子の多くは、江戸時代に風待ちの旅芸人や、巡回の旅役者などにより伝承されたという説と、妻良方面から伝承されたという二つの説があります。

なぜ、妻良からなのかということを疑問に思い、調べてみると、岩科出身で江戸に出て、歌舞伎の伴奏音楽の奏者として活躍した藤池助右エ門という人物が、妻良に婿入りし、近隣地区の祭囃や三番叟の指導をしたとのことでした。

このように伝播されたものが、地域に入り、少しずつ形を変えて地域の伝統として継承されています。

その中でも、江奈地区

町長室からこんにちは ⑨6

の浜降りは、「天狗さん」が神輿の先導をします。なぜ、天狗さんが先導をするのか疑問に感じ、地域の方に伺ってみると、当時、江奈地区では、火災が頻繁に発生していました。天狗のお面を付けている方の先祖が漁に出ている時に、ご神体が網にかかり、船寄神社に祀るようになってから、火災がなくなつたという言い伝えによるものだそうです。

現在、伊豆半島内の各地区で高齢化や若者不足のために、多くの伝承されている行事の開催が危ぶまれています。町内でも、地域の文化を後世に継承させていく方法を真剣に模索していかねばならない時期ではないかと考えた次第です。

松崎町長

深澤 進

21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

町の人口と世帯

(平成21年10月31日現在)
()内は前月比

総人口	8,107人	(-12人)
男	3,838人	(-9人)
女	4,269人	(-3人)
世帯数	3,150戸	(-5戸)
転入	10人	転出 20人
出生	8人	死亡 10人

町の交通事故

平成21年10月31日現在
()内は前年同月比

人身事故	1件	(-2)
物損事故	8件	(+1)
死者	0人	(±0)
傷者	1人	(-2)

戸籍だより (10月届出分)

おくりやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
岩地	齋藤元久	81	日出晴
江奈4	塚本幸一	84	和幸
北区	矢部義雄	97	芳治
北区	齋藤邦雄	74	きみ子
北区	樋口あい子	89	古橋久子
那賀	藤井ちゑ	82	武
道部	山地ミユキ	86	秋雄

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
西区	奏太	男	豊崎将也
峰	翔太	男	山本貴一
八木山	季夜	男	田口貴司
江奈1	竣介	男	山本健
那賀	実々	女	山本晴規
船田	咲季	女	石田和也
東区	こころ	女	山本健太

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

保健師だより

入浴と健康

普段、何気なく入っているお風呂には、単に身体を清潔に保つだけでなく、次のような効果があります。

①温熱効果 温かいお湯につかると体温が上昇し、毛細血管が拡張され、血液の循環が良くなります。また、新陳代謝が活発になり、体内にある老廃物を汗と一緒に排出してくれます。

②水圧効果 お風呂に入ると身体は水圧を受け、マッサージ効果が得られます。

③浮力効果 水中では、重力から解放され、身体が軽くなるので、関節や足腰などに掛かっていた負担がなくなり、心身ともにリラックス効果が得られます。

その反面、心拍数や血圧が上昇し、脳卒中などの発作が起こりやすくなります。入浴時には次のようなことに注意しましょう。

- 高血圧の人は、ぬるめの湯で時間を短くするなど、健康状態にあわせる
- 消化吸収活動が弱まるので、食事直後は避ける
- 体内の循環がうまくはたらかなくなるのでスポーツ直後は避ける
- 脱衣場は温めておく
- 湯冷めに気をつける
- 一番風呂は浴室や床が冷たいので、高齢者は極力さける
- 緊急時の呼び鈴や手すり等の設置など浴室の設備を整える

地域交流通信

松本市安曇地区から

安曇地区文化祭

十月三十一日から十一月一日の二日間、第二十八回安曇地区文化祭が、安曇基幹集落センターおよび体育館にて開催されました。

昭和五十四年秋に第一回村民文化祭が開催されて以来、安曇地区全村挙げての行事として続いています。

今回も安曇、乗鞍両保育園、安曇、大野川両小中学校の子どもたちの作品約六百点や、一般からの出展六十点、福祉広場の絵手紙等百三十五点といった多くの作品を展示することができました。

俳句につきましては、安曇地区より九人、二十七句に対し、松崎町の皆様から十八人、五十四句と多くの投句をいただきました。会場を賑やかにしていただきましたことに感謝申しあげます。

また、伝統的に行なわれている農作物品評会も実施しました。出品が三十一点と大変寂しいものですが、専門家をお願いし、ランク付けをして表彰を行いました。

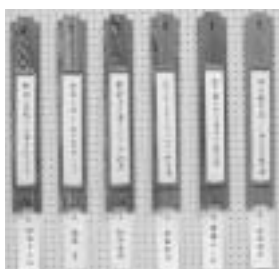
その他落語家の健康講演会、芸能発表会、福引、食堂の営業なども行いました。

三百人ほどの来場者でしたが、マンネリ化といわれているなか、来年以降も続けたいと思っております。

(安曇公民館長 判野英夫)



安曇地区文化祭



松崎町の方々からいただいた俳句